

地震に備える いつかやってくる その時のため

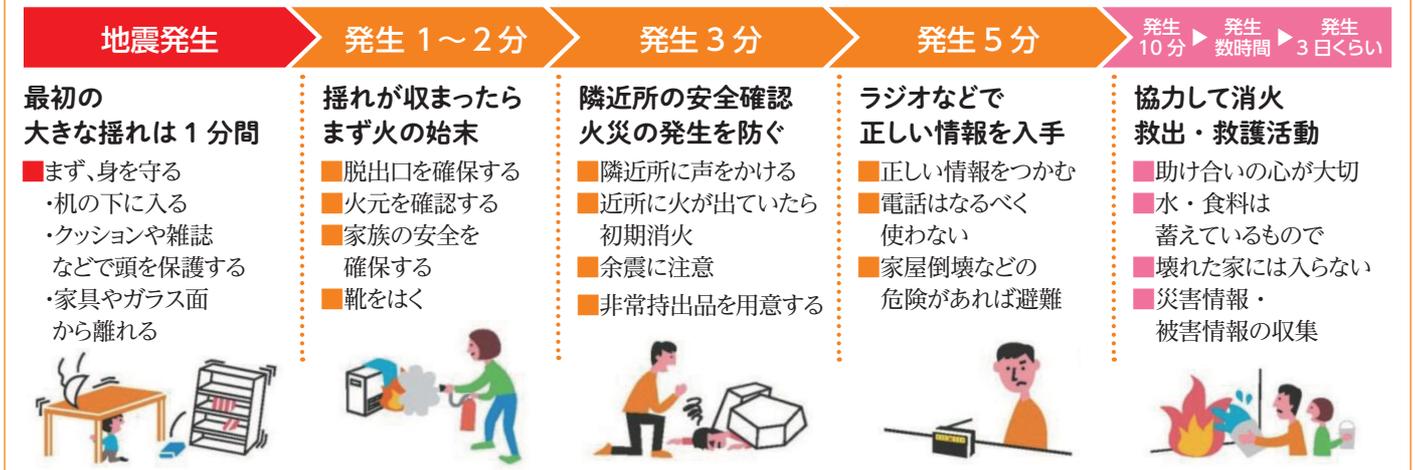
2011年3月11日、東日本大震災。かけがえのない多くの命が失われたあの日から今年で14年。今なおその爪痕は深く、復興は未だ道半ばです。その後も熊本地震や能登半島地震など、近年のわが国では大地震が相次いでいます。

福岡県でも警固断層を震源とした大地震が起こる可能性が高く、断層が市域を通過する大野城市は大きな被害を受けることが予想されています。

もし今、地震が起こったら…いざというときに落ち着いて行動できるよう備えましょう。



地震発生時の心構え／行動のポイント



ハザードマップと総合防災マップを確認しよう

ハザードマップは大野城市内の危険な場所や、避難所などを掲載しているマップです。

また、総合防災マップには、日頃から家庭でできる災害対策や、災害発生時の行動など、役に立つ情報をたくさん掲載しています。

マップを使って自分が住む地域の危険や災害時の避難場所を確認し、食料品の備蓄や家具の転倒防止などの対策をとって、地震から自分の命を守りましょう。

家族で防災会議をしよう

災害時に家族が慌てず行動できるよう、日頃から次のことを話し合っておきましょう。

- ◇家族間の連絡方法
- ◇避難する場所とルート、家族の集合場所
- ◇持ち出し袋や備蓄品の場所
- ◇脱出口の確保や、火の点検などの家族の役割分担



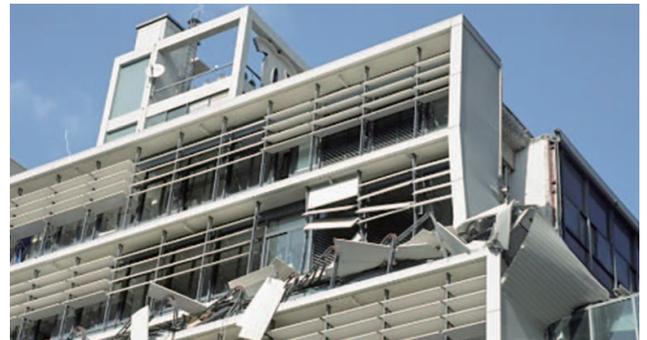
「ハザードマップ」
「総合防災マップ」



阪神・淡路大震災から30年

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から今年で30年になります。この震災をきっかけに、家具転倒防止の重要性や通電火災のリスクが知られるようになりました。

この機会に、過去の災害を振り返り、これから来る災害に備えて、各家庭での備えをよろしく願います。



6階が崩落した神戸市役所 (写真提供：神戸市)

●問い合わせ先

危機管理課消防・防災担当 ☎(580)1899